

8-1 持続可能な行政マネジメントの実践



1. 目指す姿

まちづくりを支える持続可能な行政経営

2. 前期計画期間中の施策方針

まちづくりの基本理念を実現するために実施する各事業のヒト・モノ・カネ・情報を最適にマネジメントします。

3. 現状

- 社会は前例のない大きな変化にさらされており、様々な問題が起こっています。こうした問題の中には個人や一部の団体では対応できないものも多く存在するため、行政に対する市民ニーズは、多様化・高度化しています。
- 国は、インフラ老朽化対策に関する政府全体の取組「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、自治体レベルで行動計画の策定を進め、あらゆるインフラの安全性向上と効率的な維持管理の実現を推進しています。
- 急激な人口減少と少子化高齢化の進行等により歳入が減少する一方で、物価高騰等により経常的経費が増加しています。
- 社会全体でデジタル化の遅れが懸念される中、自治体DX推進計画等に基づき、情報システムの標準化等、利用者目線にたったデジタル・ガバメントが推進されています。

4. 課題

- 時代の変化に応じて多様化・高度化している市民ニーズに対応するため、職員の資質を高めるとともに、組織全体のサービス提供能力の向上が必要です。
- 公共施設等の状況を把握し、中長期的な視点を持って、更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要です。
- 歳入面では安定的な財源を確保し、歳出面では事業の効果を検証しながら、より効果的な支出となるようなマネジメントが必要です。
- 本質的な社会課題や潜在的なニーズ等の情報を収集・分析し、適切にデジタル技術等を活用しながら行政サービスを最適化していくとともに、誰もがその恩恵を享受できる環境整備が必要です。

5. 推進施策の展開

(1)機能的な組織体制と人材育成

行政力・職員力

- 中長期的な計画のもとに人材を確保し、時代の変化に柔軟に対応できる職員・組織体制を整えます。

- 職員の資質向上と意欲醸成のための研修を実施し、多様な行政課題に積極的かつ適切に対応できる職員の育成を図ります。

(2) 公共施設等総合管理の推進

行政力・職員力

- 今後の公共施設等の利用需要を踏まえ、全体的・長期的な視点から更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行い、財政負担を軽減・平準化し、公共施設等の最適な配置を進めます。

(3) 健全で安定的な財政基盤の確立

行政力・職員力

- 選択と集中の考え方を徹底し、限られた財源の効果的な配分を図るとともに、安定的な財源の確保に努めることで、財政調整基金に頼らない持続可能な財政運営を推進します。

(4) 適正で効率的な事務執行

行政力・職員力

情報力・デジタル力

- 事業の改廃や事務手順の見直し、デジタル技術の活用等によって効率的な事務を行います。
- 行政評価を事業へ適切に反映することで行政資源(ヒト・モノ・カネ・情報)を効果的に活用します。
- 多様な主体との協力によって様々な考え方や手法を取り入れ、活用しながら施策を推進します。
- 情報の適切な管理・公表、法令に基づいた対応を徹底し、公平公正な事務執行に努めます。

主な成果指標		単位	2023年度	2029年度	種別	指標の説明
(1)	人事評価	点	58.9	60.0	年度末時点	人事評価(後期評定)平均点 ※標準的な評価50点
(2)	公共施設の延床面積削減率	%	3.9	9.9	年度末時点	目標値は再配置計画の2034年度時点(13.2%)からの推計値
(3)	<u>財政調整基金</u> 残高	億円	46.5	40以上	当初予算時点	残高40億円以上を維持
(4)	事務事業評価	%	67.0	75.0	年度末時点	事務事業評価のA評価の割合

(参考) 関連する個別計画

- 周南市職員配置適正化方針【令和5年度～令和20年度】
- 周南市人材育成基本方針【平成29年度～】
- 周南市公共施設再配置計画【平成27年度～令和16年度】
- 周南市スマートシティ構想【令和3年度～令和12年度】
- 周南市行政経営計画(仮)【令和7年度～令和11年度】